



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6615 URL <http://www.umc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 副社長執行役員 (氏名) 岡本 圭三

TEL 048-724-0001

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	62,341	19.3	1,280	12.9	1,108	10.6	748	136.3
29年3月期第2四半期	52,248		1,470		1,002		316	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,376百万円 (%) 29年3月期第2四半期 1,111百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	46.53	45.19
29年3月期第2四半期	19.69	19.36

(注) 当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	67,418	17,673	26.2
29年3月期	60,627	16,636	27.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 17,653百万円 29年3月期 16,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		44.60	44.60
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,663	8.7	2,969	3.3	2,668	23.5	2,060	57.7	128.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	16,712,280 株	29年3月期	16,712,280 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	618,927 株	29年3月期	618,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	16,093,384 株	29年3月期2Q	16,093,400 株

(注)当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2)四半期決算補足説明資料につきましては、平成29年11月10日付で当社ホームページ(<http://www.umc.co.jp/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が堅調に推移したほか、欧州は回復基調を維持、中国においても各種政策効果による景気の持ち直しの動きがみられ、地政学的不透明さを残すものの、総じて緩やかな回復傾向にあります。日本においても、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、自動車電装化の進展に伴う車載電装関連機器の増加、ファクトリーオートメーション（FA）向け需要の高まりなどを背景に、全体としては好調な受注環境が継続しております。

このような事業環境の下、当社グループでは、車載機器、産業機器製品の取扱高が伸長しており、更なる事業拡大のため、メキシコ工場操業及び佐賀工場立ち上げの準備を進めております。また、車載分野における世界的な電気自動車（EV）へのシフトを背景にした、新たな車載重要保安部品の商談、準備も順調に進んでおります。

さらに当社グループは、製造全拠点において導入を進めてきたLCA（Low Cost Automation、自社開発の自動・省力化設備）と、生産ERPシステムの融合によるスマートファクトリーの実現を目指しており、AIやIoTを取り入れて、ものづくりの上流にあたる製品開発設計段階から取り組むことにより、お客様のニーズを世界中同一品質、同一規格で、実現する構想を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は623億41百万円となり、前年同期に比べて100億92百万円の増加（19.3%増）となりました。また、営業利益は12億80百万円となり、前年同期に比べて1億89百万円の減少（12.9%減）となりました。経常利益は11億8百万円となり、前年同期に比べて1億6百万円の増加（10.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7億48百万円となり、前年同期に比べて4億31百万円の増加（136.3%増）となりました。

当社グループは、EMS事業とその他の事業を営んでおりますが、ほとんどがEMS事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、EMS事業の製品分野別の売上高とその他の事業の売上高は以下のとおりであります。売上高の金額については、連結相殺消去後の数値を記載しております。

① EMS事業

当社グループの主たる事業であるEMS事業の売上高は621億45百万円と前年同期に比べて101億38百万円の増加（19.5%増）となりました。製品分野別の業績の概況は次のとおりであります。

(車載機器)

電装化の進展による取扱製品の増加により、売上高は251億26百万円と前年同期に比べて60億87百万円の増加（32.0%増）となりました。

(産業機器)

中国市場における製造業の省力化需要の広がりによる顧客メーカーの好調に加え、中国地場メーカーとの取扱高が順調に増加したことにより、売上高は161億30百万円と前年同期に比べて34億49百万円の増加（27.2%増）となりました。

(OA機器)

主要なOA機器メーカー各社における、当社のインハウスシェア上昇に伴って、売上高は126億16百万円と前年同期に比べて25億6百万円の増加（24.8%増）となりました。

(コンシューマー製品)

主要顧客である日系ブランドメーカーの市場における競争激化の影響を受け、売上高は40億37百万円と前年同期に比べて2億26百万円の減少（5.3%減）となりました。

(情報通信機器)

スマートフォン案件の終息により、売上高は23億79百万円と前年同期に比べて14億95百万円の減少（38.6%減）となりました。

(その他)

アミューズメント機器の取扱が主な内訳になりますが、売上高は18億54百万円と前年同期に比べて1億82百万円の減少(9.0%減)となりました。

② その他の事業

人材派遣業は安定的に推移しているものの、株式会社サイバーコアを持分法適用会社にしたことにより売上高は1億96百万円と前年同期に比べて45百万円の減少(19.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は674億18百万円(前連結会計年度末比11.2%増)となりました。これは主に、棚卸資産の増加、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債につきましては、497億45百万円(前連結会計年度比13.1%増)となりました。これは主に、買掛金の増加、長期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、176億73百万円(前連結会計年度末比6.2%増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加、人民元高(対米ドル)の進行による為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,880,829	8,263,904
受取手形及び売掛金	18,765,190	22,039,108
製品	2,183,259	2,097,646
仕掛品	392,253	477,962
原材料及び貯蔵品	10,224,891	13,561,062
その他	1,692,763	1,302,424
流動資産合計	43,139,186	47,742,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,767,463	5,259,102
機械装置及び運搬具(純額)	5,704,105	6,430,797
その他(純額)	4,347,744	5,497,899
有形固定資産合計	14,819,313	17,187,799
無形固定資産	560,519	586,403
投資その他の資産		
投資有価証券	1,113,534	1,173,572
関係会社株式	53,407	52,750
長期前払費用	678,280	535,292
その他	263,478	140,175
投資その他の資産合計	2,108,701	1,901,791
固定資産合計	17,488,534	19,675,994
資産合計	60,627,720	67,418,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,336,652	22,949,878
短期借入金	5,401,540	5,354,036
1年内返済予定の長期借入金	5,115,844	5,666,829
1年内償還予定の社債	184,000	162,000
未払法人税等	751,400	830,896
賞与引当金	190,142	362,577
その他	2,343,753	2,720,223
流動負債合計	33,323,335	38,046,442
固定負債		
社債	80,000	10,000
長期借入金	9,424,398	10,435,946
退職給付に係る負債	3,854	3,883
その他	1,159,380	1,248,760
固定負債合計	10,667,633	11,698,589
負債合計	43,990,968	49,745,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,334,000	1,334,000
資本剰余金	5,513,881	5,513,881
利益剰余金	9,690,950	10,080,925
自己株式	△144,158	△144,244
株主資本合計	16,394,673	16,784,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,991	173,881
繰延ヘッジ損益	△7,533	△5,864
為替換算調整勘定	115,619	701,340
その他の包括利益累計額合計	242,078	869,357
新株予約権	—	19,152
純資産合計	16,636,752	17,673,071
負債純資産合計	60,627,720	67,418,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	52,248,834	62,341,159
売上原価	48,835,701	58,650,418
売上総利益	3,413,132	3,690,740
販売費及び一般管理費	1,942,530	2,410,122
営業利益	1,470,602	1,280,618
営業外収益		
受取利息	5,065	5,030
受取配当金	4,255	17,190
為替差益	—	10,619
その他	18,636	15,060
営業外収益合計	27,957	47,900
営業外費用		
支払利息	176,571	214,708
為替差損	309,496	—
持分法による投資損失	—	656
その他	10,001	4,621
営業外費用合計	496,069	219,986
経常利益	1,002,490	1,108,531
特別利益		
固定資産売却益	186	—
投資有価証券売却益	—	677
特別利益合計	186	677
特別損失		
固定資産除却損	0	3,596
投資有価証券評価損	538	—
事業構造改善費用	319,751	—
特別損失合計	320,289	3,596
税金等調整前四半期純利益	682,387	1,105,613
法人税等	363,881	356,755
四半期純利益	318,505	748,857
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,614	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	316,890	748,857

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	318,505	748,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,231	39,889
繰延ヘッジ損益	1,760	1,668
為替換算調整勘定	△1,477,323	585,720
その他の包括利益合計	△1,430,331	627,278
四半期包括利益	△1,111,825	1,376,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,113,440	1,376,136
非支配株主に係る四半期包括利益	1,614	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,387	1,105,613
減価償却費	1,084,798	1,213,609
のれん償却額	4,819	—
株式報酬費用	—	19,152
賞与引当金の増減額 (△は減少)	137,395	164,948
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	102,952	—
受取利息及び受取配当金	△9,321	△22,221
支払利息	176,571	214,708
持分法による投資損益 (△は益)	—	656
為替差損益 (△は益)	187,960	64,480
有形固定資産売却損益 (△は益)	△186	△677
有形固定資産除却損	—	3,596
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,499,611	△2,806,377
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,517,378	△3,046,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,365,365	3,129,096
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△98,146	275,920
未収入金の増減額 (△は増加)	△195,965	210,223
未払金の増減額 (△は減少)	539,883	△160,305
その他	174,363	11,981
小計	3,135,889	378,128
利息及び配当金の受取額	9,321	22,221
利息の支払額	△174,957	△210,158
法人税等の支払額	△156,089	△227,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814,163	△37,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,806,663	△2,359,123
有形固定資産の売却による収入	186	—
無形固定資産の取得による支出	△30,370	△93,619
投資有価証券の取得による支出	△654,619	—
投資有価証券の売却による収入	—	1,844
関係会社出資金の払込による支出	—	△3,231
その他	△1,066	△201,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,492,533	△2,655,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△461,778	△121,735
長期借入れによる収入	2,458,530	4,277,120
長期借入金の返済による支出	△2,938,948	△2,846,696
社債の償還による支出	△92,000	△92,000
リース債務の返済による支出	△70,441	△86,478
非支配株主からの払込みによる収入	1,000	—
自己株式の取得による支出	—	△86
配当金の支払額	△358,882	△358,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,462,520	771,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△718,860	105,130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,859,751	△1,816,925
現金及び現金同等物の期首残高	12,874,194	9,680,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,014,442	7,863,904

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、新たに設立したUMC Electronics North America, Inc.を連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間において合弁会社であるUMEK GmbHを設立しておりますが、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、同社を持分法の適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社グループは、EMS事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメントの記載は省略しております。